

こうのとりの ひな巣立ちまで！



【2015年】

- 2月末：のちにペアとなる雌(当時4歳)、雄(同2歳)が鳴門市大津町のレンコン畑に飛来
- 5月上旬：鳴門市大麻町の電柱に巣作りを始める。
- 5月12日：台風6号の強風で巣が飛ばされる
- 5月13日：ペアが再び電柱で巣作りを開始
- 5月中旬：マウンティングなど後尾の兆しを確認
- 5月21日：コウノトリ定着推進連絡協議会(定着協)が発足
- 6月初旬から中旬：繁殖行動がみられたが、産卵に至らず。

【2016年】

- 2月下旬：昨シーズンに続いて繁殖行動を確認
- 3月21日：ペアに産卵の可能性が高まる
- 3月22日：定着協が「19日に初卵を産んだと推定される」と発表
- 3月29日：定着協が「26日から本格的な抱卵に入った」と発表
- 4月4日：ペアがけんかし、抱卵を放棄
- 4月5日：ペアが巣を離れた際に、カラスが卵を奪い去る
- 4月6日：県が繁殖は失敗したと発表。4月19日：雌が徳島県を離れる
- 4月中旬：コウノトリの郷公園が、繁殖失敗の原因について「採餌と抱卵のバランスが崩れたこと」
- 5月11～16日：雄が一時、鳴門を離れる
- 7月23日：雄が再び鳴門を離れる
- 8月中旬：雌が約4カ月ぶりに帰巢
- 10月10日：雄が約3カ月ぶりに帰巢



【2017年】

- 1月21日：繁殖期を控え、3季連続で巣作りを始める
- 1月下旬：昨年より1カ月早く繁殖期入り
- 2月中旬：産卵の可能性が高まる
- 2月22日：定着協が「16日までに初卵を産み、18日から本格的な抱卵に入ったと推定される」と発表。
同ペアによる産卵は16年3月に続いて2年連続で確認された
- 3月22日：定着協が、21日までにひなが誕生したと推定。野外での誕生は1971年に国内の野生コウノトリが絶滅して以降、兵庫県豊岡市とその周辺以外で初めて！！
- 3月24日：徳島新聞の取材でひなが3羽いることがわかる
- 3月26日：ひなが4羽いることがわかる
- 4月3日：4羽のうち1羽を間引き行動したことが確認される
- 5月2日：こうのとりの足環装着プロジェクトチームがひな3羽に足環を装着
- 5月12日：ひな3羽のうち2羽が雄、1羽が雌と発表



5月14日：鳴門市が3羽のひなの名前「蓮」「あさ」「なる」と発表

6月2日：「蓮」「あさ」が巣立つ

6月8日：残る1羽「なる」が巣立つ